

徳島県仏教会 県仏だより

発行日 令和4年2月15日
発行者 奥村 顕 調
発行所

一般社団法人 徳島県仏教会
〒771-0106
徳島市川内町下別宮東
薬師寺(事務局)
TEL088-665-2185
FAX088-660-5142

第16号



徳島県仏教会の
YouTube チャンネ
ルを開設しました
眉山パゴダの紹
介や法話を見るこ
とができます
YouTube で「徳島
県仏教会」で検索
して下さい



一般社団法人 徳島県仏教会
代表理事・理事長 奥村 顕 調

二年前から世界各国に感染を広げた新型コロナウイルスは、各方面に甚大な影響を及ぼしました。我々寺院にとりましても、年間行事が中止を余儀なくされたり、ソーシャルディスタンスを考慮し、少人数での法要を奉修するなど、少なからずその影響を受けることとなりました。かつてない不自由な日々が続いておりますが、会員各位におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、そうしたコロナ渦中ではありますが、徳島県仏教会といたしましては、令和四年度を迎えるにあたり、平和記念塔パゴダの維持管理のありようについて協議を進めて参りたいと存じます。昭和三十三年に鉄筋コンクリートで建造されたパゴダも完成以来六十余年が経過し、老朽化による傷みが随所に確認されるからです。そしてなによりも、疫病の蔓延が世界人類の生命をも脅かしている今日ゆえに、世界人類の安寧を祈念して造られたこの仏塔を修復し、次代に伝えていくことに大きな意義を感じるからであります。

この旨をご理解頂き、会員各位のご協力の程をお願い申し上げます。

合掌

大谷翔平選手に習う



副理事長 佐伯明彦

メジャーリーグ3年目の大谷翔平選手は、2021年度は「年間最優秀選手」に選ばれました。そんな彼が高校一年の時に、夢を叶えるのに必要な行動をまとめた「目標達成シート」(曼荼羅チャート)にも注目されています。9枠の真ん中に「ドラフト1位・8球団指名」を書き、それを実現するための8目標を作り、目標達成に取り組んでいったそうです。彼のぶれない姿勢に脱帽します。

大谷選手に習い、県仏教会で置き換えて考えてみると、定款によれば目的は「地域住民との連絡連携のもとに、地域社会の仏教文化の宣揚と文化の向上に寄与する」(二部省略)とあり、目的達成のための事業を①社会教育活動、②調査研究、③研修会の開催、④団体との相互連絡をあげています。これに私は、⑤パゴダの運営、⑥組織強化、⑦会員意見の集約、⑧楽しみづくりを加えてみたいと思います。例えば、⑤パゴダの

			調査研究				研究会 の開催		
						調査	目標	計画	
						予算	パゴダ の運営	実施	
		団体との 相互 連絡		仏教文化 の宣揚と 向上		広告	評価	改善	
		組織 強化		会員意 見の集 約			楽しみ 作り		

運営、PDCAサイクルに当てはめ考えれば、現況調査、全体の総意(目標)、計画、予算、実施、広報、評価、改善(もつと議論し深めた方がよい)のような8つの目標が考えられます。このように、この8の目標に対し、それぞれに8つの目標を作り、相互理解を深め、少しずつですが進めていければ良いと考えられています。来年度も、牛歩のごとくでもあっても動いて、変わっていかねば楽しいですね。

パゴダで布教を



副理事長 福島聰空

徳島県仏教会の副理事長のお役目をさせてもらえるとは摩訶不思議なことであるし、ボクにとっては本当に有難いことでもある。ボクは高野山真言宗のお寺の住職をさせてもらっているものの、自分のライフワークとして「初期仏教」といわれる「お釈迦様」の勉強をしている。徳島県仏教会は、ご存知の通り宗旨宗派の垣根を乗り越え、お釈迦様を主体とした組織なのであって、ボクの興味と方向性にピッタリ合った活動でもあるのだ。だから、「平和記念塔・パゴダ」での活動や問題に対しても非常に身近なことだと感じているし、ボクにとってはパゴダ内の法要やイベント等の活動はとても興味深いのと共にとっても光栄なことでもある。だからこそパゴダの維持・管理に関しては重要案件なのであり、ボクの気持ちとしては何とか「存続する」という方向で話が進んでいってほしいことを希望している。

これからは「県仏だより」による会員寺院へのお知らせをするのと同時に、SNS等のメディアを通じて文章のみならず映像を使用したパゴダに関しての情報やイベント内容を一般の多くのの人々に対しても発信していく方向性の大切さを改めて確認し開始しようと考えている。

令和四年の二月にパゴダ内にてボクの法話(音楽法話)を撮影して、徳島県仏教会のアカウントとして発信する予定もしているのだ。法要でも音楽でも法話でも瞑想でもいいから僧俗一体となりパゴダに結集し、お釈迦様に回帰する運動を促すことができれば本当に面白いと思う。

平和記念塔パゴダについて



建物表面に出た赤錆



剥げてめくれた塗装

平和記念塔パゴダは、眉山山頂に位置して、現在は徳島眉山のシンボルとなっています。ビルマ（現ミャンマー）戦線は、先の大東亜戦争のうち最も悲惨な戦場で、徳島県出身将兵のうち6216名の戦没者があり、日本軍将兵19万あまりが、命を落としました。このような激戦のあったビルマ戦線生き残りの徳島県ビルマ会会員達が戦場で朝に夕に眺め親しんだ平和の象徴である純白のパゴダに想いをいたし、若くして戦場に散った数多くの戦没戦友のご冥福をお祈りし、恒久なる平和を願うシンボルとして長く後世に残したいとの思いで、ビルマの首都ラングーン（現ヤンゴン）の世界一壮大で美しいと言われるシュエダゴン・パゴダをモデルにして作られました。

昭和33年4月25日に完成し、5月18日に徳島県ビルマ会会員並びに徳島県仏教会により開塔法要が行われました。中には、当時のビルマ、ウ・ヌー首相より送られた佛舍利が祀られ、戦没者遺族より奉安申し込みのあった7967柱、東京千鳥ヶ淵墓苑の無名戦士の分霊8万7千余柱、戦友が遺骨収集に行った時の4万余柱の計13万余柱が奉安されています。以来30年余、徳島県ビルマ会は苦心の末に建塔したパゴダを維持管理し、心の拠り所として戦没者を偲び、合掌し

祈りをささげてきましたが、会員たちも高齢化が進み、いつまでも維持管理はできないと考えて、パゴダは平成元年4月12日に徳島県仏教会へ移管されました。

平成20年には老朽化したパゴダの建立50周年記念事業として、内外装の改修工事が行われ、

11月2日には記念式典と法要が執行されました。しかし、数年を経ずして雨漏りが始まり、1階部分の天井板・壁・2階3階部分の壁や柱などに至る所に雨漏りの跡が見られます。往時には1500人を超えたパゴダの入塔者も、近年は日曜日だけの開塔となり、令和3年度の入塔者数は大人259人、小中学生31人となっております。現在パゴダで行っている県仏教会の行事としては、3月21日の春彼岸法要、8月15日の戦没者慰霊法要と無双連による奉納阿波踊り、9月26日前後に行っている戦没者英霊過去帳慰霊法要があり、コロナウイルス感染症により中断しておりますが、各単位仏教会による毎月の慰霊法要（平成30年より）があります。また、平成30年12月15日には平和記念塔パゴダ建立60周年事業として、真言宗大覚寺派徳島青年教師会とチョークー&S2によるイベントが行われました。

平和記念塔パゴダは現在雨漏りが酷く、床も浮き上がっているような状況ではありますが、ビルマからの帰還兵を中心にした方々が、二度と戦争を起さしてはならないという強い決意の元に、恒久平和を願って建てられた歴史的建造物、徳島県を代表する建築物であり、今後も維持管理を続けていきたいと切に願っております。しかし、現実には建てられてから60年以上を経過したために老朽化が進んでおります。戦後80年近くなり、実際に戦争に行かれた方のみならず、戦争を経験した方が少なくなり、戦争自体に対する関心が薄れてきた影響もあり拝塔収入が減少しており、徳島県仏教会の予算を今まで以上に圧迫していく可能性が考えられます。そこで現在、パゴダの修繕計画を立てるのと併せて、パゴダの宣伝啓蒙活動を勧めております。平和記念塔パゴダ自体は、戦没者の慰霊施設として建塔されましたが、戦没者の慰霊を行うだけでなく、徳島県の仏教の布教活動施設として利用できないかを模索しております。現在は年三回の戦没者慰霊法要を行い、新たにYouTubeチャンネルを開設して、戦没者慰霊法要の配信はもちろん、個人でのSNS、ブログ、動画発信にご協力いただき、併せて法話、仏教イベントなどの発信も行い徳島県下のみならず、全国へ向けて平和記念塔パゴダを広く知ってもらいたいと考えております。

徳島県仏教会会員の皆様に今一度大切な布教の発信基地として平和記念塔パゴダの存在価値を見直していただき、老朽化したパゴダの維持管理・修繕方法などに関しましても広くご意見をお伺いしたいと考えております。

（平和の塔委員会 委員長 新居弘悠）

令和三年秋期戦没者過去帳慰霊法要

令和三年秋期戦没者過去帳慰霊法要が、令和三年九月二十五日午後二時より、眉山山頂パゴダにおいて執り行われました。本年も昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当会役員のみでお勤めをいたしました。出仕者は次の各師（敬称略）。奥村顕調、近藤龍彦、佐伯明彦、福島聰空、岡部義典、小川清山、萩岡裕明、撫養正文、笹山泰司、新居弘悠、石本憲正

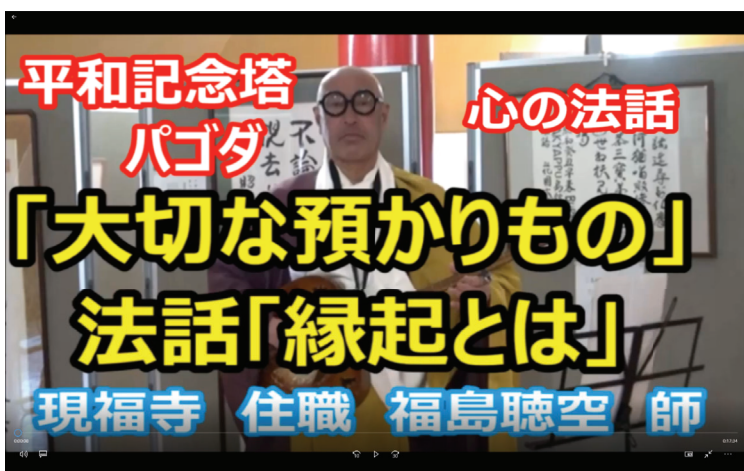


事務局だより

県仏教会の慶弔規定がありますので、左記に該当することがございましたら、事務局までご連絡ください。なお、申請用紙は県仏ホームページよりダウンロード可能です。<http://tokukenbutsu.com>

慶弔事 一 御住職の結婚（住職に限る）
二 本堂の新築及び改築
弔事 一 御住職の遷化（住職に限る）

- | | | |
|------|------|------------|
| 顧問 | 岡部義典 | 高野山真言宗宝蔵院 |
| 監事 | 笹山泰司 | 高野山真言宗大聖寺 |
| 監事 | 撫養正文 | 高野山真言宗長満寺 |
| 理事 | 萩岡裕明 | 高野山真言宗萬照寺 |
| 理事 | 鈴木良英 | 真言宗御室派円明寺 |
| 理事 | 小川清山 | 臨濟宗妙心寺派玉林寺 |
| 理事 | 近藤龍彦 | 高野山真言宗東林院 |
| 副理事長 | 福島聰空 | 高野山真言宗現福寺 |
| 副理事長 | 佐伯明彦 | 日蓮宗壽量寺 |
| 理事長 | 奥村顕調 | 法華宗本門流本覺寺 |
- 一般社団法人徳島県仏教会役員



パゴダ 心の法話

<http://tokukenbutsu.com/>

県仏ホームページでは、新たに法話の配信を始めました。第1回の法話は当会副理事長であります、高野山真言宗現福寺住職福島聰空師であります。また新たに開設したYouTubeチャンネルでも視聴可能です。